大分合同新聞　返礼品・カメラの是非

ワークシート　　年　　組　　名前

① ふるさと納税返礼品にキャノン製デジタルカメラを贈ることについて、あなたは賛成ですか？　それとも反対ですか？記事を基に根拠を組み立てた上で、自分の意見をまとめてみましょう。

「地元産品」「産業振興に役立つ」といった部分を重視すると賛成でしょうし、資産性の高さや制度の趣旨を重視すれば反対になるでしょう。そういった要素を見比べて「どちらともいえない」という意見も当然あり得ます。難しい問題ですね。

返礼カメラ廃止

ふるさと納税で国東市、年度内に

国から再三要請受け

国東市はふるさと納税返礼品のキヤノン製デジタルカメラについて、本年度中に贈呈を取りやめる方針を固めたことが28日、分かった。県内最高の受け入れ実績をけん引する目玉品だったが、総務省から「資産性が高い」「制度の趣旨に反する」と再三、全廃を求められていた。

三河明史市長が取材に答え、「返礼品競争に批判が出る中、制度そのものを守るための苦渋の決断」と説明した。これまでは「地元産品」「産業振興に役立つ」と継続容認を訴えてきた。廃止時期は未定。交換レンズなどの周辺機器もやめる。

市は地元に「大分キヤノン」（同市安岐町）があることから2015年度にデジカメを返礼品に追加。受け入れを急増させ、昨年度は県内最多の25億円を集めた。

一方、総務省は豪華な返礼品で激化する自治体間競争を問題視。15年度以降、3度にわたって全国自治体に電気・電子機器などを贈らないよう要請してきた。5月には国東市に直接、回答を求め、三河市長が6月23日に同省担当者と面談していた。

市ふるさと納税推進係は「全国的に是正されれば条件は同じ。新たなアイデア勝負ができると前向きに捉え、受け入れ額を減らさないように努力したい」と話している。

（2017年6月29日付け朝刊県政面）